

国際サーカス村通信	VOL.19 N003	2014年 2月 21日 (金)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	http://www.circus-mura.net	k-nishida@accircus.com

●3月17日(月) 授業開始

サーカス学校 13 年後期授業は 3 月 17 日 (月) から始まります。今期は、リコーの社会貢献クラブ・FreeWill の助成金で購入した、スプリング付跳躍版がみんなを迎えることとなります。予算が乏しいサーカス学校の運営は四苦八苦といったところなので、このような助成を受け、ひとつでも道具を用意できるのはとてもありがたいことで、生徒たちにはこうした道具を有効に使い、より一層の練習、訓練をしてもらえればと思います。

今期から、サーカス学校のひとつの大きな活動として (別項ご参照)、“サーカスはリヤカーに乗って”が始まります。したがって西田はサーカス学校にいる時間が限られますが、関口事務局長がほぼ常駐することになると思いますので、サーカス学校及び協会への連絡は、関口事務局長 (090-9012-5500) にとりていただければと思います。



● “サーカスはリヤカーに乗って”

3 月 9 日 (日) の “力をあわせる 200 万群馬 3・11 さよなら原発アクション” の参加がリヤカー・ツアーの初日となります。本来 3 月 11 日の東日本大震災 3 年目のこの日に、大公害事件の原点ともいえる足尾銅山近くの親水公園横、そこから上流の松木川沿いには車輛通行止めのゲートがある場所からスタートする予定でしたが、9 日に群馬県高崎市で大規模な反原発大集会が行われるとのことなので、この日から “サーカスはリヤカーに乗って” の烽火を上げることにしました。もちろん、3 月 11 日は予定通りの場所から出発し、途中、車でリヤカーを運ぶこととなりますが、旧足尾公民館横 (足尾小学校横) で、最初のリヤカーショーを行います。

ぼくらにとってこのリヤカーはサーカスのすべてを運ぶ、百万馬力の道具です。そこにはメインポールや大テントの部材やさまざまなアクトのための道具、アーティストたちの衣装や生活道具が積み込まれているはず。この玉手箱のようなリヤカーを、だれがどのようなカギをつかって、隠されているサーカスの宝物を担ぎ出すか、今はわ



かりません。リヤカー・ツアーは、そのカギを見つける旅になるかもしれません。現在予定しているスケジュールは以下の通りです。各公演場所周辺で、リヤカー遊歩したいと思います。

- 3月9日(日) 高崎市城址公園”群馬3・11 さよなら原発アクション”に参加
- 3月11日(火) 足尾・親水公園スタート 旧足尾公民館横にて大道芸ショー
- 3月16日(日) 開館祭/横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化会館
- 3月18日(火)～4月5日(土) 群馬県みどり市周辺リヤカー遊歩
- 3月21日(金)～23日(日) 千葉県夷隅郡 御宿牛舎8号 Performance Festival
- 4月6日(日) みどり市大間々町 大間々朝市
- 4月8日(火)～4月10日(木) わたらせ遊水地周辺
- 4月11日(金) 経産省前テントひろば
- 4月19日(土) 20(日) ヨコハマ大道芸
- 4月26日(土) 足尾町・親水公園
- 4月27日(日) 静岡県沼津市入り
- 5月4日(日) 清水みなと大道芸
- 5月10日(土) 長野県入り
- 6月13日(金) シアターX IDTF 前夜祭東京両国シアターX
- 6月23日(月) サーカス学校ワークショップ 岐阜県恵那市矢作村
- 7月19日(土) 20日(日) サーカス学校発表会
- 7月25日(金) 京都府 地湧舎入り

●京本千恵美ソロパントマイム公演『ここはどっちへ?』を終えて

まずは、この公演にお越しいただいた多くの方々、会員の方々に御礼申し上げます。多くの方からお褒めの言葉をいただき、ほっと一安心といった気分だったのですが、一方では、パントマイム公演が初めての方、見慣れていないの方々からは、よくわからなかった、展開についていけなかったというご批評をいただき、やはり、パントマイム公演が初めての方にも楽しんでいただけなかったのは、力量不足であったと反省しております。

今回の公演は、エンターテイメントあるいはアートとしてのパントマイムではなく、パントマイムという技法を用いて、老人・認知症問題に取り組むという作品作りを試みただけに、わからなかったというのは、ぼくらとしては、深く反省しなければならないところです。

パントマイムそのものが、演者の意図していることを観客に伝えきらないのであれば、その点は、パントマイム自体の表現として未熟であると認識しなければならないのですが、この問題をクリアするのは簡単なことではありません。

一方で、パントマイムという表現で、75分に及ぶ長丁場をひとつのストーリー展開で作りだしたことを評価して下さった方もいらっしゃいます。作った者としては、パントマイム、クラウンなどの技法を用い、セリフ抜きで、ひとつの物語を展開するという試みだったので、その点を評価していただ



たことはなにより嬉しいことでした。

そしてこの作品が京本千恵美の代表作になればという思いがありますので、今後もよりよい、ある意味わかりやすくもある作品に仕上げるように、稽古を続けていきたいと考えています。

ここに至るまでには、国内外のさまざまなクラウン、パントマイム公演や作品作りがありました。もちろんその集大成というわけではありませんが、ひとつの明確な考えがぼくのなかに育ってきたのは事実です。それは、クラウンやパントマイミストは、いつでも上演できる、どこでも上演できるという、上演時間も一時間は必要という作品をもつべきだという、ある意味、それがクラウン、パントマイミストの条件ではないかという考えです。

この考えを、実際の作品作りとして行ってみたかったのです。

三年目の東日本大震災、そしてフクシマ第一原発の事故、さらにそれ以降の国、政府の対応の仕方、サーカス学校放射能汚染によるサーカス学校の一時休校などに、正直、これからどのような活動をしていけばいいか、迷い続けています。今回の作品作りの間にも、特定秘密保護法の成立、辺野古埋め立ての認可はじめ数限りない悪法がのさばり始めていますし、この国は、戦争のできる国、戦争を仕掛けかねない軍国主義の国になりかかっています。いや、すでにその道を邁進しています。

そうした状況下での創作活動、表現活動は、さまざまな問題を孕んでいるのはいままでのないことで、戦争をしかねない国へと傾斜していく流れ、その流れに乗っかりまたその流れを強めるような文化活動はとても許されることではないし、むしろいかにしてそれらの人々の生存、生活を脅かす動きに抵抗し、その恐ろしい姿を暴きだすか、それこそぼくらに求められている活動に他ならないでしょう。そのように考えながら、今回の作品作りができたかといえば、そこにたどり着くことはできなかったのも事実です。このことは、今後の課題ですが、日々の政府の動きを見ていると、とてもものんびりしてられない。では、どのような活動をすればいいのか。そのひとつの試みが“サーカスはリヤカーに乗って”なのですが、この試みがどのような動きとなっていくのか、全く見当もつきませんが、ぼくらが活動している分野である、大道芸、クラウン、パントマイム、ダンスそしてサーカスといった身体表現のジャンルから他の文化・芸術ジャンル、そして社会一般に、たとえほんのわずかであれ、なんらかの影響を与えることができればということを望んでいます。“サーカスはリヤカーに乗って”は、ひとつ、小さな文化運動だと思います。そしてその中から次の作品が生まれることを願いつつ、リヤカー・ツアーはとりあえずエンドレスの旅を始めます。

●今年のWSも奥矢作レクリエーションセンターで

昨年に引き続き、ワークショップを岐阜県恵那市串原で行います。昨年は大変好評で、楽しく有意義なWSを行うことができたのですが、いささか人数オーバーとなり宿泊に苦労したので、今年は申し訳ありませんが、全期間参加の方を優先させていただきたいと思います。



←昨年の参加者たちと。

期間	2014年6月22日(日)～6月29日(日) 22日(日) 集合 23日(月)～28日(土) 9:00～17:00(昼休み 12:00～14:00) 29日(日) 解散
場所	奥矢作レクリエーションセンター 住所 岐阜県恵那市串原 1149-2
参加費	45,000円 ※ワークショップ参加費・宿泊費・食事代・保険料
募集人数	10名
ルート	JR 多治見駅集合。現地までは車で送迎。 (集合時間などは、参加者と打ち合わせます)
協力	NPO 法人 奥矢作森林塾
募集〆切	2014年5月31日(土)

●サーカス・オズ（オーストラリア）

2013年8月4日～9日の旅程で、オーストラリアのパスに、サーカス・オズを観に行ってきました。

オーストラリアには、NICA（National Institute of Circus Arts）という、サーカス・アート（とオーストラリアでは呼んでいる）で学士号を提供している国立の教育機関があり、スウィンバーン工科大学の認定も受けています。

以前、見学に行ったときは、現在「木下大サーカス」で活躍中の阪知香さんが留学しており、クラスをのぞいたときにバッタリ会い、お互いにびっくりしたことを覚えています。

そのサーカスが盛んな国オーストラリアで、サーカス・オズは、1978年に設立されました。集団でのチームワーク、創造力、ロックンロールに演劇、そして何よりもオーストラリアらしさを盛り込んだエネルギッシュなサーカスショーという特徴は、創立以来、今日も受け継がれています。

1990年の国際花と緑の博覧会（大阪）にも、来日しています。こちらの方のブログに当時の写真もあるので、ご覧ください。 <http://blogs.yahoo.co.jp/expo90expo90/39489396.html>

サーカス・オズの本拠地はメルボルンですが、今回はパスでの公演を観にいきました。劇場は、Perth Theatre Trust という、もとはオペラハウスだったという、古い歴史ある劇場。オペラハウスでサーカスやっちゃうというのも、オージーらしくていいですね。



さて、「CRANKED UP」という作品は、サーカス・アーティスト 10 名に、ミュージシャン 2 名で構成されていますが、アーティストも何名か、時々楽器演奏をしていました。ひとり 2 演目ぐらいはできるようですし、加えて楽器演奏や歌、ダンス、芝居など、こういったところに、NICA という教育機関の成果がでているのではないかと思いました。



ちょっとカマっぽいイケメン 2 人が進行役。とはいえ、この 2 人も、楽器演奏もするし、マオリ族の伝統舞踊をアレンジしたようなダンス、へなちょこマジック、ジャグリング、バトントワリングと、いろいろなことをやります。

工事現場を模したような舞台美術の中に、鉄骨に吊り下げられたピアノ（グランドピアノ）があり、演奏している最中に、このピアノが徐々に下がってきたりと、オズらしい吊り物もありました。このピアノを外したり、空中ブランコ用のプラットフォームを取り付けたりという作業は、リガーが電動ドリルを使って行っていました。工事現場というシチュエーションをうまく使い、作品の流れの中で行っていたのも、おもしろく見ることができました。



サーカス芸は、バンキン、ハンドツーハンド、チャイニーズポール、足芸、綱渡り（吊られた鉄骨の上で行われる）、空中リング、バトントワリング、自転車、空中ブランコ（吊られた鉄骨に下げられている）、クラブ・ジャグリング、リング・ジャグリング、ハンドアクロバット、ローラーバランス、シーソー・アクロバットとあり、これらがテンポよく進行されていました。

中盤で、カンガルー（着ぐるみ）のコミディがあるのですが、これがおもしろい。OZ なまりの英語のしゃべりは、殆ど理解できませんでしたが、観客には大ウケでした。

コンテンポラリーサーカスと呼ばれるサーカスが、数多く進出している中で、伝統を重んじつつも、その時代にあわせた、しかもオーストラリアらしさを忘れないサーカス・オズは、非常に愉快で、久しぶりにサーカスらしいサーカスを観た、楽しい気分させられました。



公演最終日には、サーカス・オズの大きなトレーラーが劇場の搬出口に横付けされており、これがまたサーカス気分を高揚させてくれました。

この「CRANKED UP」は、3 月で終了し、6 月には新しい作品の初演を迎えます。次はどんなことをやってくれるのか、目が離せません。（大野洋子）

最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

●名古屋公演 公演期間 2014年2月22日(土)～2014年5月19日(月)

●休演日；木曜日と3/5(水)、4/9(水)、5/7(水)

●会場；ポートメッセなごや駐車場特設会場 ●電話；名古屋公演事務局 052-382-0009

★ポップサーカス

●埼玉公演 公演期間 2014年2月22日(土)～2014年4月13日(日)

●休演日；水曜日 ●会場；モラージュ菖蒲大テント会場 ●電話；埼玉公演事務局 0480-87-1007

★シルク・ドゥ・ソレイユ ダイハツ『ovo』東京公演

草木の下の生き物たちの世界を描いた初のファンタジー作品『オーヴォ』。カラフルで個性的な動きを見せるキュートなキャラクターたちに癒され、純粹で一途な恋の物語に心が温まる。

東京公演会場：お台場ビッグトップ 東京公演後、大阪・名古屋・福岡・仙台公演と続きます。

東京公演：2014年2月12日(水)～4月13日(日)

追加公演：2014年4月22日(火)～5月11日(日)

ほか日程など詳細は公式サイトにてご確認ください。 <http://www.fujitv.co.jp/events/ovo/>

その他公演情報

★御宿牛舎8号 Performance Festival

牧場全体がサーカスになるイベントです！楽しいショーと、おいしいお食事！

「サーカスはリヤカーに乗って」出演します。入場無料。雨天決行。HP「牛舎8号」で検索！

●日時 2014年3月21日(金)、22日(土)、23日(日)

◎大道芸/11:00-16:00 ◎牛舎7号スペシャル・ステージショー17:00-18:30 ※23日は16:00-17:30

●会場；Farm Resort 鶏卵牧場 おんじゅくフロンティア・マーケット 牛舎8号(千葉県夷隅郡)

●お問い合わせ；おんじゅくフロンティアマーケット「牛舎8号」0470-68-2631

★ながめくらしつ新作公演「おいていったもの」

唯一無二のチェロ奏者の生演奏とジャグリング、エアリアル、マイム、ダンスが織りなす、ながめくらしつ異色の新作公演。

●出演者 目黒陽介、宮野玲、長谷川愛美、バーバラ村田、坂本弘道

●日時 2014年4月11日(金) 19:30、4月12日(土) 14:00/18:00

●会場 現代座ホール(東京都小金井市) ●お問い合わせ 070-5573-6248

チケットご予約は、ながめくらしつサイト予約フォームからお申込み下さい。 <http://nagamekurasitsu.com/>

★山本光洋ソロライブ ”かかしになるために” 第9弾

planB 連続公演、2014年の第2回は4月25日(金) 19:30、26日(土) 15:00/19:30。

●会場 planB(東京都中野区) ●チケット予約・お問い合わせ 山本光洋 Office 03-3951-1999

※公演3日前まで受付。それ以降は当日券のお取り扱いとなります。